

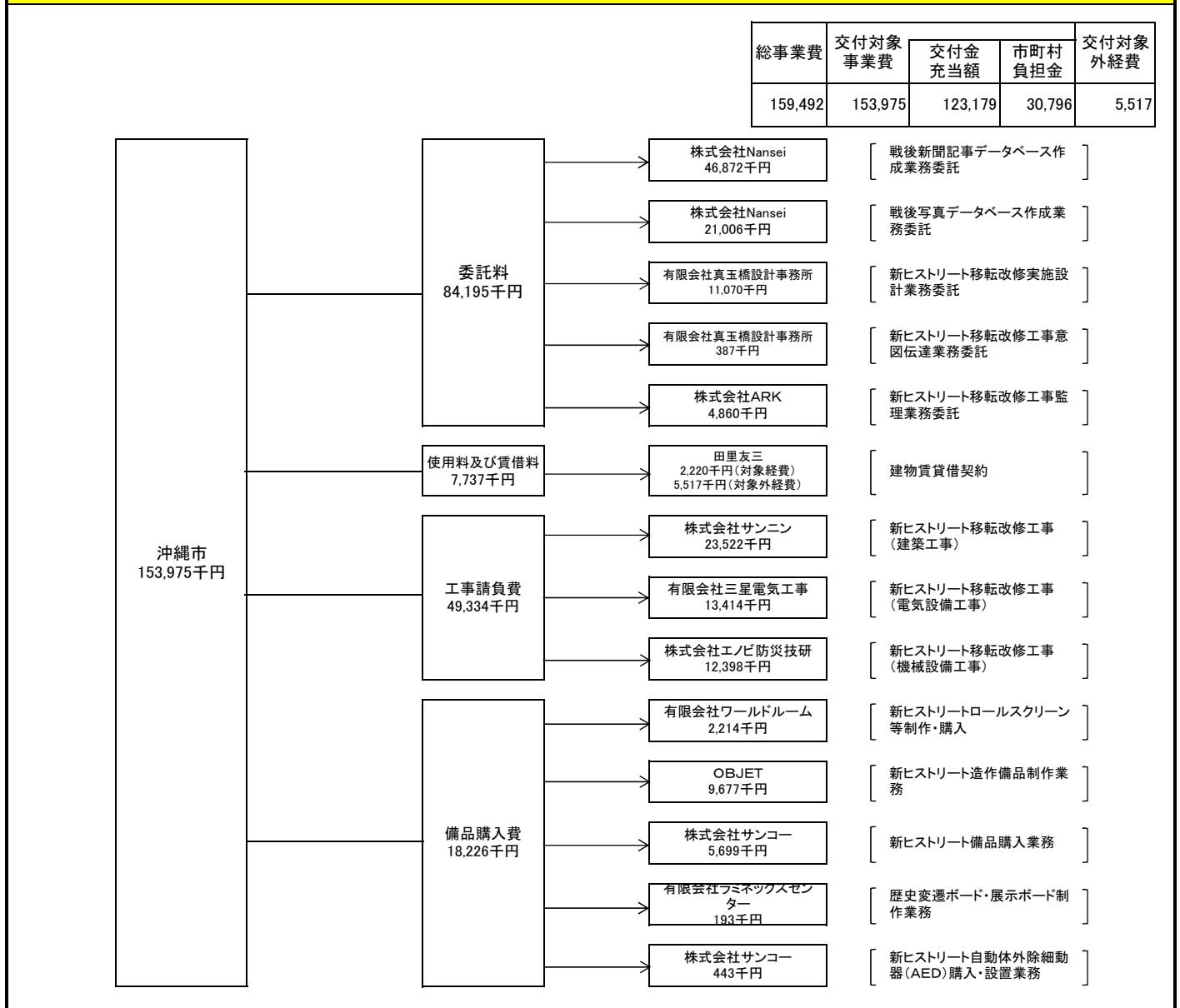
市町村名		沖縄市					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨		戦後文化資料等展示事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア	
	担当部課名	総務部 総務課	事業実施(予定)年度	平成24~29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり Ⅲ-1-(1)	
事業内容	<p>沖縄市戦後文化資料展示室ヒストリート(以下、ヒストリート)における観光誘客のさらなる拡大を図り、地域の活性化へつなげていくため、本市関係の戦後資料である新聞記事資料及び写真のデジタル化を実施し、ヒストリートにて公開していく。 「ヒストリート」の魅力向上と本市の個性豊かな歴史文化資源の効果的な情報発信に向け、展示室拡充を図るため移転先の改修及び移転を実施する。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(H30 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度(繰越)
	予算の状況	(a) 当初予算額	28,483	51,022	56,697	86,467	—
		(b) 予算現額	27,702	50,568	62,219	174,915	—
		(c) 増減額(b-a)	▲ 781	▲ 454	5,522	88,448	—
		(d) 繰越額	—	—	—	—	42,841
	A. 計(b+d)		27,702	50,568	62,219	174,915	42,841
	B. 執行済額		27,702	50,568	62,219	118,690	35,285
	うち交付金充当額		22,161	40,454	49,775	94,952	28,227
	次年度繰越額		0	0	0	42,841	—
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	67.9%	82.4%
予算の状況の説明		<p>当初予算からの増額88,448千円については、年度途中で施設改修及び整備に係る費用(意図伝達業務、工事監理業務、工事請負費、備品購入費)を追加したことに伴う増額である。また、改修予定施設の工事の施工上障害となる物件の撤去に不測の日数を要したため、平成29年度内の工事完了が困難となり、工事にかかる42,841千円を平成30年度に繰越した。</p>					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	戦後、沖縄市に関連する新聞記事(琉球新報・沖縄タイムス)の抽出及びデジタル化(1988年~1995年 8年分)	目標	(1981年 ~1987年)	(1988年 ~1995年)	()	()	
		実績	1981年 ~1987年(10%)	1988年 ~1995年			
	総務課市史編集担当が保有する沖縄市戦後写真のデジタル化	目標	()	(実施)	()	()	
		実績		実施			
	沖縄市戦後文化資料展示室ヒストリートの移転先の施設改修を行う。今年度は改修工事等を行う。	目標	()	(実施)	()	()	
実績			実施				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事デジタル化率は、平成24年度から平成29年度までの実績により目標通り対象年(66年6ヶ月)の100%(66年6ヶ月 約98万件)のデジタル化を達成している。 ・戦後写真のデジタル化について、平成28年度に構築した公開システムに取り込み、沖縄市戦後文化資料展示館「ヒストリート」(以下、「ヒストリート」)への誘客に繋がる取り組みを行っている。 ・新ヒストリート実施設計業務を完了し、平成30年5月に移転改修工事を終えた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(H30年度)
	ヒストリート来室者数19,900人(うち修学旅行者2,900人)	目標	()	(19,900人(2,900人))	()	()	()
		実績		18,267人(3,182人)			
	新ヒストリート移転改修工事等の完了	目標	()	(改修工事等の完了)	()	()	()
		実績		改修工事等の完了			
【H30成果目標】		目標				(21,600人(3,200人))	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の沖縄市戦後文化展示資料室ヒストリート・ヒストリートⅡへの来室者数は18,267人(うち修学旅行者3,182人)で目標の19,900人には届かなかったが、修学旅行者の目標については達成できた。 ・平成30年度に繰越をし、完成した沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリートの備品整備と改修工事を終えた。 						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度事業にて構築し稼働させた公開システム(以下、Webヒストリート)には、ヒストリートのホームページとしての機能があり今まで以上に情報発信を行うことができたことで、観光客や修学旅行関係者の目に留まる機会も増えたと推察される。そのため、実際に利用していただいた修学旅行関係者に再度来訪してもらえるよう展示室の拡充及び充実を図る。 沖縄県の外国人旅行客の増加に伴い本市への訪問も増えていると推察されるため、本市の歴史文化を知ってもらうため、ヒストリートにおける展示物の説明の多言語化またはリーフレットの多言語化が必要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 新ヒストリートの移転改修工事を終えたことで、展示スペースがヒストリートと比べ約2倍に増えたことで展示の充実に取り組んだ。また新ヒストリートは交通アクセスも良く共同駐車場もあることから、来訪者も訪問しやすい環境となった。 外国人観光客への対応として、まず展示物への説明に日本語のみならず、英語の解説を加えることで外国人観光客への対応を行っている。

今後の取り組み方針

・Webヒストリートでの情報発信の強化と、関係機関と連携し観光客へのPR手法を検討していく。また、修学旅行生等については、関係者に再度また来ていただけるよう展示手法について適宜検討し、より本市の歴史文化に魅力を感じてもらえるよう取り組む。
 ・外国人観光客への誘客のため、リーフレットの多言語化に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流点、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者の選定については、指名競争入札により受託者を選定しているため、選定方法は妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○建物借上料に係る随意契約について、選定委員会にかけて移転先を選定したため、適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算規模について、工事に係る費用は不測の事態を想定したことで、不用額6,045千円となったが、概ね適正であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業完了時に支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名	沖縄市
------	-----

平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-②	災害時緊急避難通路整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ
担当部課名	建設部 道路課	事業実施(予定)年度 平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)

事業内容	里道を活用した災害時緊急避難通路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。
------	---

効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(H30 年度)
--------	---

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()
------	---

		H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	30,889	67,769	—		
	(b) 予算現額	1,188	44,740	—		
	(c) 増減額(b-a)	▲ 29,701	▲ 23,029	—		
	(d) 繰越額	—	0	13,435		
	A. 計(b+d)	1,188	44,740	13,435		
	B. 執行済額	1,188	30,768	11,406		
	うち交付金充当額	950	24,614	9,125		
	次年度繰越額	0	13,435	—		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	68.8%	84.9%		
	予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の入札不調に伴う設計見直しや用地交渉の難航により、予算を減額(23,029千円)した。 ・工事箇所隣接する拝所付近の樹木の伐採時期について、地元との調整に不測の日数を要したことから、繰越(13,435千円)が生じた。 				

活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		比屋根地区1路線81mの整備工事	目標	(1路線81m)	()	()
	実績	1路線81m				
桃原地区1路線157mの整備工事	目標	(1路線157m)	()	()	()	
	実績	1路線157m				
達成状況説明	比屋根地区(1路線81m)及び桃原地区(1路線157m)における災害時緊急避難通路の整備工事を実施し、目標を達成した。桃原地区(1路線157m)については、平成30年度への繰越が生じた。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(H30年度)
			比屋根地区1路線81mの整備工事の完了	目標	()	(1路線81m の完了)	()
		実績		1路線81m の完了			
	桃原地区1路線157mの整備工事の完了	目標	()	(1路線157m の完了)	()	()	()
		実績		1路線157m の完了			
【H30成果目標】 供用開始後1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 ・避難訓練の実施1回	目標					(避難訓練の実施1回)	

進捗状況説明	津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図るため、比屋根地区(1路線81m)及び桃原地区(1路線157m)における災害時緊急避難通路の整備を完了し、目標を達成した。
--------	---

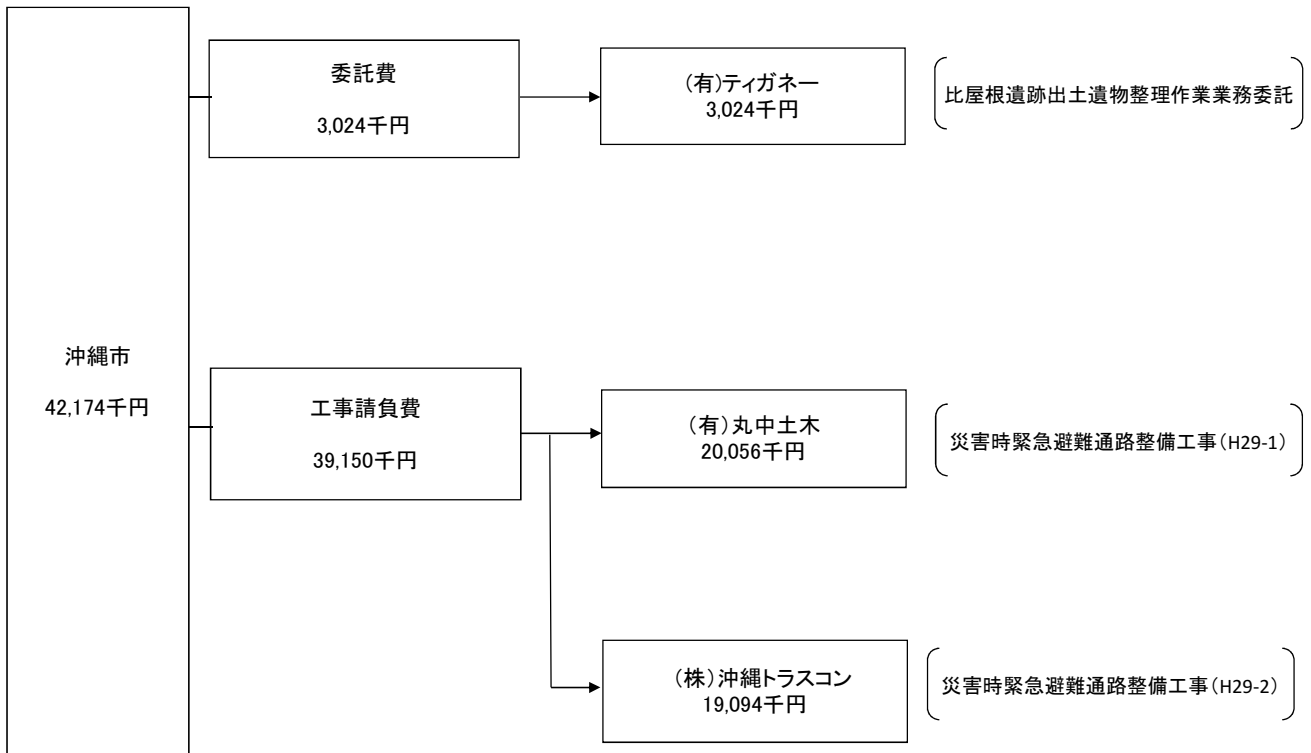
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・当初3路線を計画していたが、入札不調に伴い設計内容を見直すため、1路線については、見送りとなった。 ・整備後の住民周知が必要であり防災訓練等で当該路線を活用し住民周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札不調が発生した場合の対応について、想定しつつ事業を計画する必要がある。 ・自治会と連携を図りながら防災訓練等により当該路線について住民周知を図る

今後の取り組み方針

・工事の早期発注を行い入札不調に対応できる期間を確保するとともに、設計の見直しが生じた場合に迅速な対応を目指す。
 ・整備前に地域自治会と当該路線における整備後の防災訓練等について活用方法や住民への周知についての調整を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
42,174	42,174	33,739	8,435	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市
------	-----

平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	11-①	沖縄こどもの国施設整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-ア
担当部課名	企画部 プロジェクト推進室	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	個性豊かで魅力あふれる基幹都市圏の形成
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容 沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、動物園の充実を図るとともに、動物展示施設整備を行う。

効果発現年度 当年度 後年度(H30 年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		H28年度	H28年度(繰越)	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	7,992	—	30,654	—	
	(b) 予算現額	468,537	—	720,335	—	
	(c) 増減額(b-a)	460,545	—	689,681	—	
	(d) 繰越額	—	260,461	—	433,784	
	A. 計(b+d)	468,537	260,461	720,335	433,784	
	B. 執行済額	184,823	260,461	286,551	431,461	
	うち交付金充当額	147,858	208,369	229,242	345,167	
	次年度繰越額	260,461	—	433,784	—	
	執行率(%) (B/A)	39.4%	100.0%	39.8%	99.5%	
	予算の状況の説明	当初予算には基本設計のみを計上していたが、事業の進捗により、建設工事等の経費を増額(689,681千円)した。入札不調の発生に伴い設計の見直しを行ったことにより、年度内での完了が困難となり、繰越(433,784千円)した。				

活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況			
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
施設整備基本計画に基づき、動物園の充実を図るとともに、動物舎等の実施設計を行う。 ・動物舎等建築基本設計 ・新規動物舎建設工事 ・展示演出設計(ガイダンスパビリオン) ・動物舎等建築実施設計(里山の迷宮エリア、爬虫類の滝エリア) ・東エントランス周辺サイン等設計製作	目標	(実施)	()	()	()
	実績	実施			
達成状況説明	・動物舎等建築基本設計、新規動物舎建設工事(猛獣舎)、展示演出設計(ガイダンスパビリオン)、動物舎等建築実施設計(里山の迷宮エリア、爬虫類の滝エリア)、東エントランス周辺サイン等設計製作について、計画どおり実施し、目標を達成した。 ・新規動物舎建設工事等については、平成30年度への繰越が生じた。				

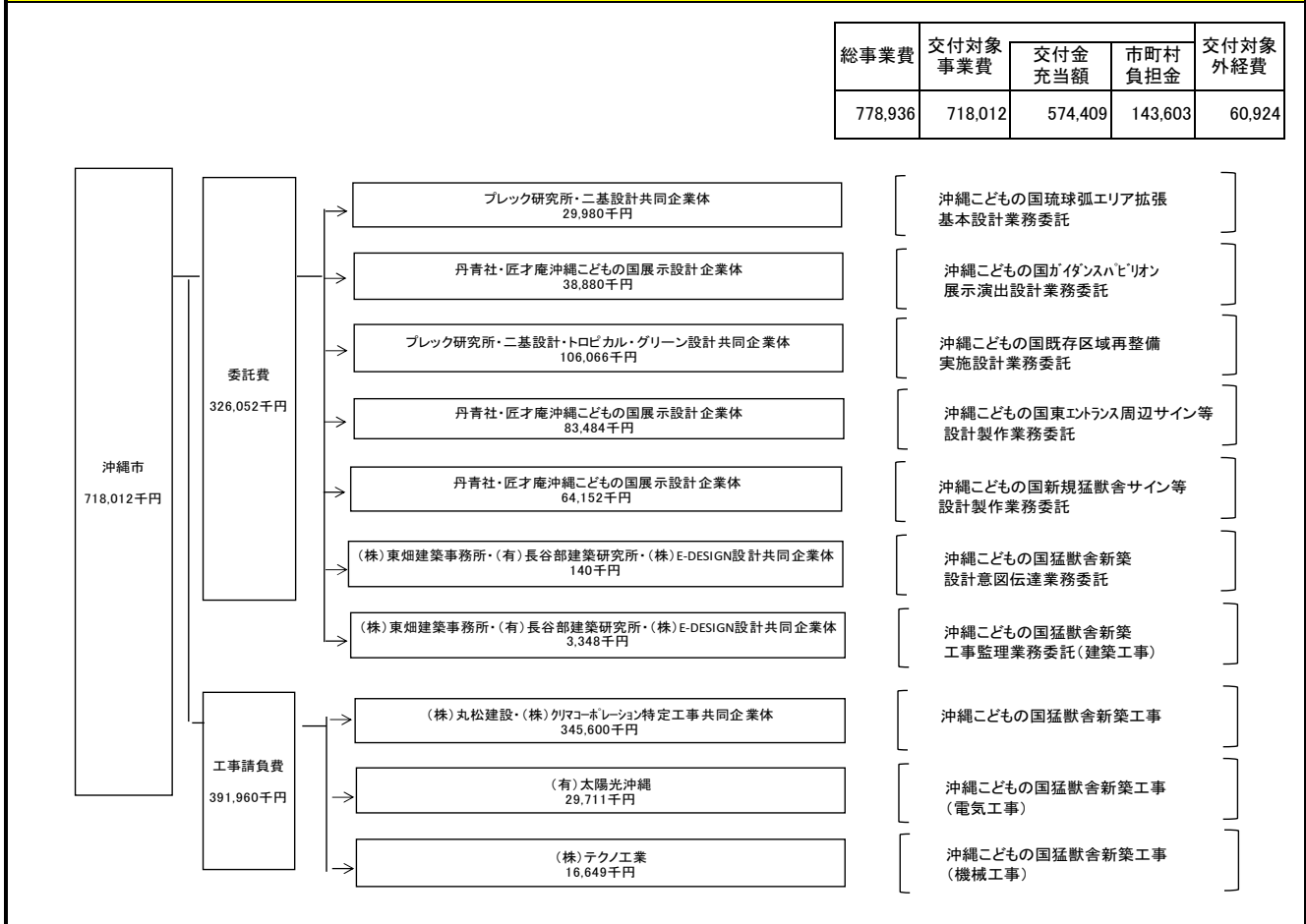
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R3年度)
			()	()	()	()
平成29年度目標入園者数46万人	目標	()	(46万人)	()	()	()
	実績		49万人			
動物舎等の基本設計(琉球弧拡張エリア)完了	目標	()	(完了)	()	()	()
	実績		完了			
新規動物舎建設工事完了	目標	()	(完了)	()	()	()
	実績		完了			
ガイダンスパビリオン展示演出設計の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
	実績		完了			
動物舎等の実施設計(里山の迷宮エリア、爬虫類の滝エリア)完了	目標	()	(完了)	()	()	()
	実績		完了			
東エントランス周辺のサイン等設計製作設置完了	目標	()	(完了)	()	()	()
	実績		完了			
【後年度成果目標】 年間目標入園者数 平成30年度:48万人 平成31年度:60万人 平成32年度:72万人 平成33年度:79万人	目標					(79万人)
進捗状況説明	・平成29年度の入園者数は、493,645人となり目標を達成した。 ・動物舎等の基本設計(琉球弧拡張エリア)、新規動物舎建設工事、ガイダンスパビリオン展示演出設計、動物舎等の実施設計(里山の迷宮エリア、爬虫類の滝エリア)、東エントランス周辺のサイン等設計製作設置については、計画どおり完了し、目標を達成した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>(動物舎等基本設計) 琉球弧エリアの基本設計をもとに、ソフトサービスと連動した実施設計を行う必要がある。</p> <p>(新規動物舎建設) 来園者に配慮した新規猛獣舎工事を行うとともに、目玉動物舎として施設規模に見合った頭数の導入が必要がある。</p> <p>(ガイダンスパビリオン展示演出設計) 来園者ニーズに合ったガイダンスパビリオンの展示演出を設計するとともに、展示演出を活用したソフトサービスを開発する必要がある。</p> <p>(動物舎等実施設計) 来園者ニーズに合ったクマ舎周辺エリアとワニ舎周辺エリアを設計するとともに、整備に合わせた動物導入を検討する必要がある。</p> <p>(東エントランス周辺サイン等設計製作) 新規猛獣舎の整備に合わせたサイン等を設計製作するとともに、そのサイン等を活用した誘客の取り組みを行う必要がある。</p> <p>(年間入園者数) 目標入園者数は達成されたが、さらなる誘客の取り組みを行う必要がある。</p>	<p>(動物舎等基本設計) 琉球弧エリアの特徴を活用したソフトサービスを検討する。</p> <p>(新規動物舎建設) 施設規模に見合った動物導入を行い誘客を図る。</p> <p>(ガイダンスパビリオン展示演出設計) 展示演出を活用したソフトサービスを検討する。</p> <p>(動物舎等実施設計) 施設整備に合わせた動物導入を検討する。</p> <p>(東エントランス周辺サイン等設計製作) サイン等を活用した誘客の取り組みを検討する。</p> <p>(年間入園者数) 新たな話題を提供し、それらを効果的に情報発信することでさらなる誘客を図る。</p>

今後の取り組み方針

<p>(動物舎等基本設計) 整備スケジュールに合わせ実施設計を行う。</p> <p>(新規動物舎建設) 施設規模に見合った動物導入を行う。</p> <p>(ガイダンスパビリオン展示演出設計) 展示演出を活用したソフトサービスを検討する。</p> <p>(動物舎等実施設計) 施設整備に合わせた動物導入を検討する。</p> <p>(東エントランス周辺サイン等設計製作) サイン等を活用した誘客の取り組みを検討する。</p> <p>(年間入園者数) 新たな話題を提供し、それらを効果的に情報発信することでさらなる誘客を行う。</p>
--

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流点れ検査・評価目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○工事は本市業者選定委員会で選定した業者を指名競争入札により実施し、設計業務及びサイン等整備は公募型プロポーザルによる提案を受けて契約者選定しており、妥当であったと考える。</p> <p>○事業内容に見合った予算規模で適正であったと考える。</p> <p>○費目、用途については、事業目的の観点から、必要なものなのか等については、額の確定時において検査確認しており、適正であったと考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	